

感染症にかかった場合について

- ① 登所を控えることが望ましい場合は(下記表参照)、医療機関を受診し家庭での看護をお願いします。
- ② 感染症に罹患した子どもが登所する場合は、子どもの症状が回復し、健康(全身)状態が保育所での集団生活に適応できる状態に回復している必要があります。
- ③ 登所の際、医師が記入した意見書(※1)が必要です。

*意見書が必要な感染症(麻しん・風しん・水痘・流行性耳下腺炎・結核・咽頭結膜熱・流行性角結膜炎・百日咳・腸管出血性大腸菌感染症・急性出血性結膜炎・侵襲性髄膜炎菌感染症)

- ④ インフルエンザは、インフルエンザ治癒報告書(※1)が必要です。

登所を控えるのが望ましい場合

発熱の時	<ul style="list-style-type: none"> ○ 24時間以内に38℃以上の熱が出る ○ 24時間以内に解熱剤を使用している ○ 朝から37.5℃を超えた熱とともに、元気がなく機嫌が悪い ○ 食欲がなく朝食、水分が摂れていない <p>(例1) 朝から37.8℃の熱があり、機嫌が悪く、食欲がないなど、全身状態が不良な場合、登所を控えるのが望ましい。</p> <p>(例2) 37.8℃の熱があるが、朝から食欲があり、機嫌もよいなど、全身状態が良好な場合、一律に登所を控える必要はないと考えられる。</p> <p>(例示した発熱時の体温はめやすであり、個々の子どもの平熱に応じて、個別に判断が必要)</p>	
	<p>【参考】0～1歳児の乳幼児の発熱に関する特徴については、下記の場合が考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体温調節機能が未熟なために、外気温、室温、湿度、厚着、水分不足等による影響を受けやすく、体温が簡単に上昇する。 ・咳や鼻水などの風邪にみられる症状がなければ、水分補給を十分に行ない、涼しい環境に居ることで、熱が下がることもある。 ・0歳児が、はじめて発熱した場合には、突発性発しんの可能性もある。 ・0歳児が、はじめて発熱した場合には、熱性けいれんを起こす可能性もある。 ・発熱がある、機嫌が悪いなどの様子とともに、耳をよく触る姿が見られる時は、中耳炎の可能性もある。 	
下痢の時	<ul style="list-style-type: none"> ○ 24時間以内に2回以上の水様便がある ○ 下痢と同時に、いつもより体温が高い ○ 機嫌が悪く、元気がない 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 食事や水分を摂ると、その刺激で下痢をする ○ 朝、排尿がない ○ 顔色が悪く、ぐったりしている
嘔吐の時	<ul style="list-style-type: none"> ○ 24時間以内に2回以上の嘔吐がある ○ 食欲がなく、水分も欲しがらない ○ 顔色が悪くぐったりしている 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 嘔吐と同時に、いつもより体温が高い ○ 機嫌が悪く、元気がない
咳の時	<ul style="list-style-type: none"> ○ 夜間しばしば咳のために起きる ○ 呼吸困難がある ○ 少し動いただけで咳が出る 	<ul style="list-style-type: none"> ○ ゼイゼイ音、ヒューヒュー音がある ○ 呼吸が速い
発しんの時	<ul style="list-style-type: none"> ○ 発熱とともに発しんがある ○ 感染症による発しんが疑われ、医師より登所を控えるよう指示された ○ 口内炎がひどく食事や水分が摂れない ○ 浸出液が多く他児への感染の恐れがある 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 発しんが顔面等にあり、患部を覆えない ○ かゆみが強く手で患部を掻いてしまう

【厚生労働省：保育所における感染症対策ガイドライン(2018年改訂版)(2022(令和4)年10月一部改訂)から】

※1くすり連絡票・意見書・インフルエンザ治癒報告書は、保育所等に置いてありますが、「育さぼとやま」からもダウンロードすることができます。

『育さぼとやま→目的別でさがす→保育所・認定こども園・幼稚園→保育所等を利用中の方へ(在園児向け情報)』 ikusapotoyama.city.toyama.lg.jp